

学校の教育目標	全教育活動を通して、人権尊重の精神を養い、児童の健全育成に努める。差別や偏見を許さず、互いに尊重し合い他者を思いやりながら、共に生きていこうとする心を育てる。
---------	---

特別活動の目標	望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。
---------	--

目指す子供像	◎よく考え進んで学習する子ども ・思いやりがあり助け合う子ども ・体力がある元気な子ども
--------	--

特別活動の重点目標	集団の一員としての自覚をもち、異学年の交流活動を促進し、自他のよさに気付く伸長し合いながら、自治的・自発的な活動ができる態度・能力を培う。
-----------	---

	学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
目標	学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。	児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。	クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる。	学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
指導の方針	・学級生活が楽しく豊かになるために話し合いができるようにする。 ・話し合ってから決めたことは必ず実践し、実践後の反省もできるようにする。 ・学級の一員としての自覚を高めるため責任ある仕事を分担し、協力して仕事ができるようにする。 ・集団活動を営むための望ましい行動の仕方を身に付けるようにする。 ・生活指導との関連を図る。	・学級生活が楽しく豊かになるために話し合いができるようにする。 ・話し合ってから決めたことは必ず実践し、実践後の反省もできるようにする。 ・学校内の仕事を分担し、協力して仕事ができるようにする。 ・一人ひとりの児童が活動を通して自主的な態度や社会性が育つようにする。	・児童の希望を生かした適切なクラブを設け、児童の創意工夫によって計画運営ができるようにする。 ・活動を自主的、自治的に行うことにより自主性と社会性を養い、個性の伸長を図る。	・日常の学習や経験を総合的に発揮させ、その発展を図る。 ・行事に積極的に参加する態度を育てる。 ・集団の一員としての自覚をもたせ、感動的な体験を味わわせる。
主な指導内容	(1) 学級や学校の生活づくり 学級生活の諸問題の解決 学級の係の分担処理 など (2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全 望ましい人間関係の育成 希望や目標を持って生きる態度の育成 基本的な生活習慣の形成 など (3) 「キャリア・パスポート」を使い、児童生徒が、教育に関わる諸活動について、特別活動の学級活動を中心として、各教科等と往還し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返りしながら、自身の姿や成長を自己評価できるような工夫できるようにする。	・委員会活動 代表・集会・放送・飼育・運動・理科栽培 図書・環境・広報・保健・ボランティア 給食 ・全校児童集会 1年生を迎える会・七夕集会 6年生を送る会・節分集会 ・縦割り班活動 いちにタイム	・クラブ バスケットボール・卓球 サッカー・科学・漫画イラスト・手芸・器楽合奏・屋外スポーツ・パソコン・ものづくり・文化 バドミントン・縄跳び・室内レク テーブルゲーム・ダンス ・クラブ見学 3年生	・儀式的行事 入学式・卒業式・始業式・終業式など ・文化的行事 学習発表会など ・健康安全・体育的行事 運動会・避難訓練・安全指導など ・集団宿泊的行事 日光移動教室・ウィンタースクールなど ・勤労生産・奉仕的行事 校内美化活動など
各教科・読書科	言葉を的確に理解・表現する力や互いの立場・考えを尊重し伝え合う力など、各教科の指導で身に付けた力を活用したり、向上させたりする。特に学級の会の仕方などの指導は、国語科の学習内容と関連を図って指導する。また、発表の仕方など、教科指導を通して指導していく。 図書館の利用や健康・食育については、国語科や体育科、家庭科の学習とも関連を図って指導する。	豊かな学校生活づくりのために、各教科で身に付けた能力などを児童会活動に活用する。また、児童会活動を通して自主的、実践的な態度を育み、それを各教科等の自発的な学習に生かすことができるようにする。	各教科の学習を中心として行われる様々な教育活動の中で、一人ひとりの児童の自主的な活動が促され、それぞれの児童が自己の特性を生かしながら学級や学校の生活を送ることができるようにするとともに、クラブ活動を通して身に付けた様々な技能や態度が、他の教育活動においても生かされるようにする。	○儀式的行事：学校や地域について学習したことをもとにその一員であるという自覚を高めるようにする。 ○文化的行事：国語や音楽、図工などの学習の成果を互いに発表し合うことで、それらの学習の向上及び意欲の向上を図る。 ○健康安全・体育的行事：体育の学習成果を発表し、規律ある集団行動や運動に親しむ態度を育成する。活動を通して安全な運動や行動に対する意識を高める。 ○集団宿泊的行事：社会や理科、生活科などの学習を生かして自然や文化に親しむとともに、集団行動や集団生活の在り方を体験させる。 ○勤労生産・奉仕的行事：生活、社会などの学習を生かして、勤労の尊さや生産の喜びを体得させ、社会奉仕の精神を養う体験を行う。
他の教育活動との関連	特別の教科 道徳 外国語活動 総合的な学習の時間	下学年は、「自分でできることは自分でやること」、「よく考えて行動し節度ある生活をする」とを、上学年では、「思いやりの心をもち相手の立場に立ち親切にすること」、「身近な集団に進んで参加し、役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすこと」を重視する。	4年生は、「自分で決めたことは粘り強くやり遂げること」、「尊敬と感謝の気持ちをもって接すること」を、5・6年生は、「進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくなること」、「誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること」を重視する。	儀式的行事では、「礼儀正しく行動し、協力し合いよりよい校風をつくること」、「郷土や国を愛する心をもつこと」を、文化的行事では、「美しいものに感動する心をもつこと」を、健康安全・体育的行事では、「健康や安全に気を付けること」を、遠足・集団宿泊的行事では、「自然環境を大切にすること」を、勤労生産・奉仕的行事では、「社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つこと」を重視する。
家庭や地域との連携	豊かな学級や学校の生活づくりや健全な生活態度の育成にあたって、個々の家庭の状況に配慮したり、地域や家庭と連携を図ったりする。 また、基本的な生活習慣や健康で安全な生活態度、食育の観点を踏まえた望ましい食習慣の形成では、家庭での指導と連携を図り、効果的な指導をする。	保護者と連携して読み聞かせ活動や集会活動を行ったり、学校行事に保護者や地域の人々を招待したり、ボランティア委員会や環境委員会によるアルミ缶回収や愛の光運動など、家庭や地域の協力を得たりする活動を行う。	児童の興味・関心を基本としながら、地域の人や保護者による外部講師などの連携を図る。また、クラブ活動の一環として地域の行事に参加するなどの活動も考慮する。	文化的行事や健康安全・体育的行事などにおいて、地域社会の人々が参観しやすいように期日などを考慮したり、学校の教育について積極的に地域の人々に理解を得たりする。また、勤労生産・奉仕的行事などでは、保護者や地域の関係団体の協力を得るなど地域の人々との連携を図ったり、家庭への積極的な参加を呼びかけたりする。
備考				